

# JR東日本の事業内容と環境・社会との関わり

JR東日本は、首都圏を含む本州の東半分を事業エリアとし、約7,500kmの沿線において、約1,700駅、約12,000車両で、鉄道輸送サービスを中心としたさまざまなサービスをお客さまに提供しています。

このサービスを提供するにあたっては、CO<sub>2</sub>や廃棄物の排出など、環境負荷が発生してまいりますので、これらの負荷をできる限り小さくするよう、環境保全活動を行っています。また、鉄道輸送の根幹となる安全・安定輸送を確保し、地域や社会への貢献などにおいても企業の責任を果たすよう、さまざまな取り組みを行っています。



